



光洋町2-5-2

TEL72-7255

【学校教育目標】 健康で明るく 心豊かな 主体的人間の育成をはかる

【校訓】 ■健康な体 ■誠実な心 ■前進する力

伝えたいこと

校長 遠藤 玲

□学校祭19日(木)「最高結咲～想いを深め、結べ、繋げ～」

真剣・躍動の姿、つながりの証しの発表・作品の数々

伝統を受け継ぎながらも、時代に応じた学校祭づくりへ！

おかげさまで、本校は無事学校祭を開催することができました。昨年に引き続き全校生徒が体育館に一堂に会し、保護者・地域の皆様の観覧制限なく開催できたことを大変うれしく思います。(昨年4年ぶりに合唱コンクールを再開することができました)

今年も「合唱コンクール」、有志による「全校演劇」、「全校合唱」、そして各学年ごとの制作活動に挑戦し、光洋中だからこそ「ONLY 1」の学校祭を創り上げました。生徒たちは、事前の準備・練習に一生懸命に取り組んでくれました。この取組を通して、全校生徒、それぞれ一人一人の持ち味・強み・長所の新発見がたくさんあったはずです。お互いの気付き・再認識に期待しているところです。(もちろん、もめ事・トラブルもあったはずです)

この活動の中心的役割を担ったのが生徒会運営協議会のメンバーです。当日の進行を含め、ほんとうによくやってくれました。特に、片平瑚己会長(3年)をトップとする現体制は、これが活動の集大成でもあります。閉祭式での、片平会長からのあいさつの一部です……………



中学校の学校祭で精一杯やり遂げること。

そこで得られる想って、人生の中でそう味わえるものではありません。

15歳の中学生が「こんな想い」を抱いてくれたことをとてもうれしく思います。

生徒会運営協議会の面々は、「頼もしく誇れるリーダー」です。光洋中の新たな伝統を次に繋げてくれたことに感謝するとともに、後輩たちがその思いをしっかりと受け継いでくれるはずです。

□避難訓練 6日(金)自分の命を守ることを考える時間

～時間が経過しても、絶対に「忘れてはいけないこと」～



2018年9月6日3時7分、北海道胆振東部地震を私たちは経験しました。隣町の厚真町を震源地とする震度7の大地震は、高校生を含む、多くの尊い命が失われ、水や電気などのライフラインは寸断され、多くの建物が崩壊したことが思い出されます。(当時、本校でも家庭科室が避難所になりました) 今、改めて無事に

「生きていること・日常の生活が送れていることへの感謝」と

「いつ起こるかかわからない危機(地震や津波、火事等)に対して、どのように自分の命を守るか」

を教訓にしなければいけません。



～学校に避難された町内会の皆様と合同で危機管理の講座を受講～

今年2回目の避難訓練は「大きな地震の発生、大津波警報発令を想定した」グラウンド、そして3階への避難訓練でした。生徒たちは大きな混乱なく、避難を無事完了することができました。

加えて、今回は光洋町内会の皆さんも体育館への避難を想定し、いっしょに市危機管理室の方を講師に出前講座を受講しました。



「喉元過ぎれば熱さを忘れる」胆振東部地震からの教訓、私たちはこれからも生きていく上で、決して忘れてはいけません。

今年度も前期が終了します。各ご家庭で諸費の納入状況(引き落とし時の残高不足含)を今一度ご確認下さい。未納・不足の場合はお早めにお納めください。不明な点があれば学校(教頭)までご連絡ください。